



季刊誌「むらのおと」

Vol. 40
2023.Winter



むらの声

mura note file

- 今神倶楽部（富士市）
- 那賀地区（賀茂郡松崎町）

むらマッチ

- とうもろの里（掛川市・袋井市・磐田市）
- キラリ☆邑びと
- 桂流コシヒカリのふる里（伊豆市）

my viewpoint

- こつぶく処横川（浜松市天竜区）

Instagramフォトコンテスト
イベントカレンダー



季刊誌「むらのおと」

vol.40
2023
Winter



2023年12月20日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県経済産業部農地局農地保全課 ☎ 054-221-2714 FAX.054-221-2809



しずおか
農山村サポーター

むらサポ

募集

来て! 食べて! 見て!
魅力いっぱいの
農山村を応援しよう

まずは登録!
農山村の旬な情報満載のメルマガが
あなたのもとに届きます!!

登録
無料

登録はこちらから!



公式ウェブサイト
www.shizuoka-murasapo.net

しずおか むらサポ 検索



Facebook
www.facebook.com/
shizuokamurasapo/



Instagram
www.instagram.
com/murasapo/

見て!

棚田や茶園、
花畑など季節の
美しい景観

食べて!

旬な農産物や
特産品



気になるものがあつたらぜひ「来て!」「食べて!」「見て!」ください!!
あなたのちょっとしたアクションが、
農山村を盛り上げることに繋がります。

企業や
大学も
大歓迎!

◎農山村を応援する法人・団体として「むらサポ」WEBサイトで紹介します。

◎企業の強みを農山村支援に活かしたい!→ 支援を求める農山村とマッチングします。



ふじのくに
美しく品格のある邑
Beautiful and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合



公式ウェブサイト
www.fujinokuni-mura.net

美しく品格のある邑 検索



40
2023
Winter

CONTENTS

むらの声 mura note file

03 #01 今神倶楽部
(富士市)

05 #02 那賀地区
(賀茂郡松崎町)

07 むらマッチ 農村 × 企業・大学
ニーズと得意分野をマッチング
とうもんの里
(掛川市・袋井市・磐田市)

09 キラリ☆邑びと
桂流コシヒカリのふる里
(伊豆市)

10 my viewpoint
いっぶく処横川
(浜松市天竜区)

11 Instagram フォトコンテスト

13 イベントカレンダー

表紙 / 湖西市白須賀

湖西市南西部に位置する白須賀にて撮影された1枚。まるで白い雪のように見えるのは切干大根です。白須賀は土地が開けているため風通しが良く、大根を干すのに適しています。
(第3回農村の魅力フォトコンテスト入賞作品「冬の風物詩」佐藤 守)



牧之原市蛭ヶ谷 (ふじのくに美しく品格のある邑: 蛭ヶ谷)
しずおかむらたび冬 2022Instagram フォトコンテスト入賞作品 / 撮影者: @8penta5



ふじのくに美しく品格のある邑って？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる伝統が息づく地域それぞれの「宝（資源）」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域（邑）です。平成24年度に35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、令和5年12月現在で153の地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性は様々です。

周辺環境だけにとどまらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、153の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。



ふじのくに美しく品格のある邑ホームページ

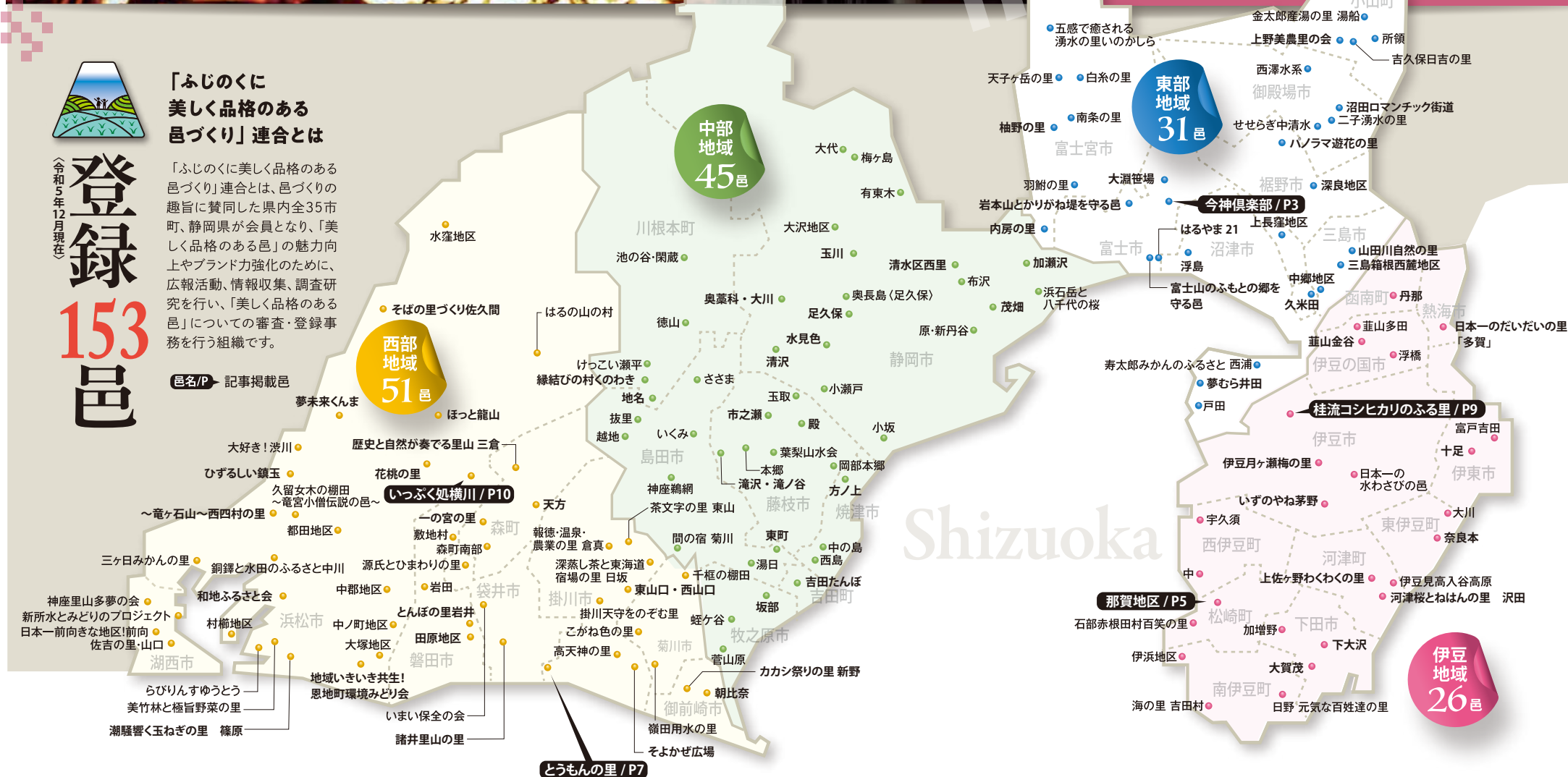


登録
153
邑

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/P 記事掲載邑



ドーム菊で描く富士山 リアル富士山とのコラボは唯一無二

遊休農地を利用してドーム菊を植栽する今神倶楽部。
富士山や駿河湾を望む絶景に彩りを添えている。

眼下に広がる駿河湾と富士山をデザインしたドーム菊とのコラボ絶景が楽しめる。



富士市
● 車／東名高速道路 富士 IC から車で約 15 分、
新東名高速道路 新富士 IC から車で約 15 分
● バス・電車／ JR 富士駅から富士急静岡バス
「今宮」下車、徒歩約 4 分（土日のみ運行）



富士山麓の丘陵地帯に位置する今宮神戸地区。北に雄大な富士山を仰ぎ、南に駿河湾を望む風光明媚な邑です。

そんな今宮神戸地区では、古くから茶やしきみの栽培を行っています。その畑の一角、広さ2千平方メートルの遊休農地を利用して、黄色や赤色の小さな花が半球の形で咲くドーム菊2千株が植えられています。

「平成22年からドーム菊を植栽しています。植物を選定するにあたり、同様の活動を行っている日本各地の団体の視察を行い、ドーム菊を見つめました。

はじめは色分けをして植え付けているだけでしたが、平成25年からリアルな富士山とのコラボを楽しんでいただきたくて、富士山をデザインした植栽をしています。

最近では、新聞やテレビに取り上げていただけるようになり、地域外の方にもドーム菊を楽しんでいただけるようになりました」と話すのは、今神倶楽部の会長を務める渡邉弘康さん。



緑の芝生が一面に広がる
今宮ふれあい公園
ドーム菊畑のすぐ近くにある、芝生が広がる緑豊かな公園。遊具や休憩スペース、散策道も整備されているので、子どもからお年寄りまで楽しめます。

● 富士市今宮 983-18
多目的トイレ完備 駐車場あり



地域の憩いの場に
北部産直さずな
春の新鮮野菜や手作り惣菜、しきみなどを販売しています。人気の干し芋は12～2月頃に登場。紅はるかやシルクスイートなど、品種による食感の違いが楽しめます。炙るとより甘くなりますよ！

● 富士市一色 500-11（富士北支店敷地内） ☎ 0545-21-1181（富士北支店）
営業時間：9:00～12:00 定休日：日・月・祝日・年末年始



富士山溶岩流跡に鎮座
今宮浅間神社
富士山が噴火した際に形成された溶岩流の先端に社を建て、災害が起きないように浅間大神を祀ったのが始まりと言われています。毎年8月には火祭りが行われ、ロープに縛りつけた松明を円や8の字にまわし、火災防止や無病息災を祈念します。

● 富士市今宮 387



富士山と駿河湾の絶景が楽しめる今宮神戸地区

ドーム菊とは小菊の一種で、直径50～100cmほどの丸形になり、1株に4,000個ほどの花を咲かせます。10月下旬から11月上旬が見頃です。毎年8月13日に行われる「今宮火祭り」も多くの人が出で賑わいます。邑のいたるところから雄大な富士山や駿河湾を眺めることができる今宮神戸地区に、ぜひ遊びに来てください！

邑びとメッセーじ

わたなべ ひろやす
渡邉 弘康さん

富士市今宮で生まれ育つ。今神倶楽部の会長。高校卒業後、家業を継いで農業に従事。ご夫婦でしきみを栽培している。



かわぐち ひろゆき
川口 博之さん

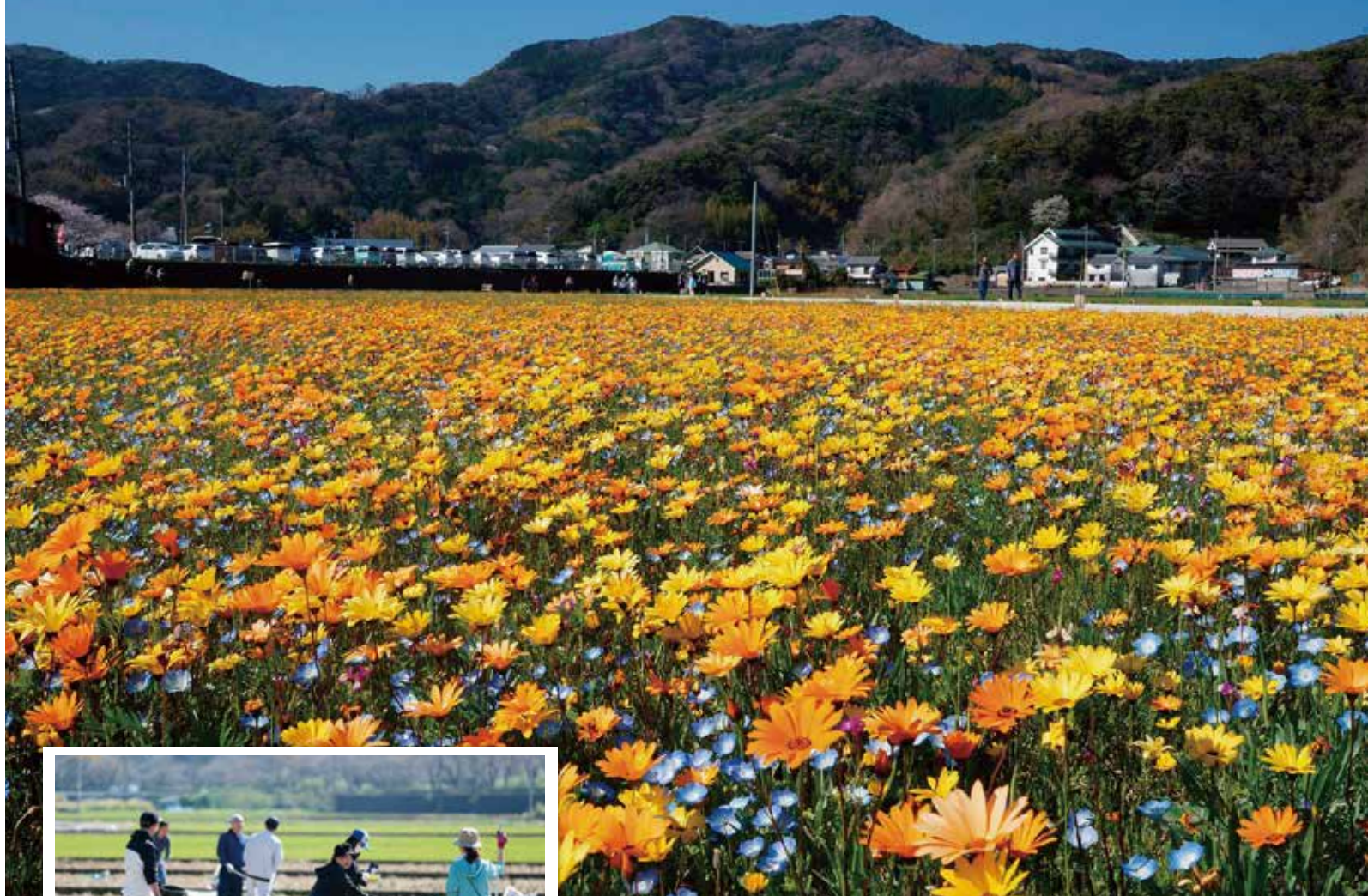
富士市今宮出身。脱サラして実家の農業を継ぎ、しきみとお茶づくりに励む。今神倶楽部の事務局として尽力。



今宮地区を中心とした地域では全国的にも珍しい「根付きしきみ」が栽培されています。根が付いているので日持ちが良く、全国から引き合いがある高級商品。日本一の出荷量を誇ります！



毎年地区の消防隊の指導のもと、中学生とともに畑かん用水を活用した消火訓練を実施。



「アフリカキンセンカ」を皮切りに、「るりからくさ」「姫金魚草」「つましろひなぎく」「ひなげし」「矢車草」の6種類の花が数週間ごとに咲き、畑一面を埋め尽くす。

mura note file
むらの声 #02

ご協力いただいたみなさんのまいった種が、春には美しい花を咲かせる。

みんなで作る！みんなの花畑！ 田んぼをつかった花畑

美しい花畑を守り、訪れる人の目を楽しませたい。
秋晴れの空の下、想いをひとつに種をまく。



那賀地区
なかちく



賀茂郡松崎町那賀
● 車／東名高速沼津 IC または新東名沼津長泉 IC から伊豆縦貫道
→ 国道 136 号 → 県道 15 号経由で約 100 分
● 電車・バス／伊豆急下田駅から西伊豆東海バス「松崎・堂ヶ島」
方面行き「宮小路」下車、徒歩約 1 分

松崎町を代表する花の名所「田んぼをつかった花畑」。農閑期の田んぼを観光促進に役立てようと、那賀地区と行政がタッグを組み、平成12年からスタートしました。

開始当初は松崎町の協力を得て行っていました。が、平成31年からは地元有志による松崎花畑実行委員会が引き継ぐことに。種の買い付けから連作障害の試験、イベントの準備など、1年を通して活動しています。

会長の端山智充さんは「まずは資金を調達するために、クラウドファンディングで協力を募ることからスタートしました。より美しい花畑にしようと、栽培する品種や方法を見直すなど、今もなお試行錯誤を重ねています」と苦労を語りますが、「努力の甲斐が実りつつあります」と確かな手応えを感じているようでした。

毎年秋には種まきイベントを開催。取材当日は地元の住民や企業など20人を超えるボランティアの皆さんが、畑作業に汗を流していました。



左から、三島信用金庫 松崎支店の平川さん、土佐谷さん、土屋さん、松井さん

毎年参加しているという三島信用金庫 松崎支店の土佐谷さんは「すっかり秋の恒例イベントになっていきます。春に観光客の方々が花を摘んでいる様子を見て、松崎町の活性化に貢献できているとあらためて実感。嬉しい気持ちになりますね」と話してくれました。

親子の姿も多く、松崎小学校に通う齋藤心愛ちゃんは4回目の参加とあって、まき方のコツがつかめてきたと誇らしげの様子。

「自分が担当した畑が気にな



さいとうがづのり 齋藤一恵さん(中)と娘さんの心愛ちゃん(左)、お友だちの怜奈ちゃん(右)の3人で参加

なって、前を通るたびにチェックしています。作業後に振る舞われるカラーが楽しみです」と少し照れながら話してくれました。

「ゆくゆくは花畑で育ったお米を『花畑米』として商品化して、協力してくださった皆さんに恩返ししたい」と意欲を見せる端山さん。地元の皆さんと一緒に作り上げる花畑米は、愛情たっぷりでおいしさも倍増のはず。花が咲く春はもちろん、収穫の秋の到来も楽しみです。



花畑で広がる「人の輪」に感謝！

事業の打ち切りやコロナによる中止など紆余曲折ありましたが、毎年足を運んでくださる観光客の方も多く「今年は咲きがいいね」と声をかけてくださったり、種まきイベントにも参加してくださったりと、人の輪が広がり、関わりが深まっていくのを感じます。さまざまな人たちに支えられて迎える2024年の春。ぜひ遊びに来てください！

邑びとマッセージ

はやま ともみつ
端山 智充 さん
賀茂郡松崎町出身。松崎花畑実行委員会会長。
地元松崎町にて伊豆唯一のさつまあげ専門店を営む。

一足早い春を満喫しませんか！

田んぼをつかった花畑 2月中旬～5月5日



約3万㎡の広大な田んぼに「アフリカキンセンカ」や「るりからくさ」など、6種類の花が順々に開花。訪れる時期によっていろんな花畑を楽しむことができます。花畑の中にはアール・ド・フランスや花の鳥居、足湯が設置され、5月1日から5日までのGW期間中は、無料で花を摘むこともできます。

● 会場／賀茂郡松崎町那賀地区 入場料／花畑協力金 1グループ(9名まで)500円
☎ 0558-42-0745 (松崎花畑実行委員会)



とうもんの里

**体験イベントや産官学連携で
邑の魅力を積極的に発信**

「この美しい田園風景を次世代につなげたい。邑の宝や魅力を知っていただきたい。趣向を凝らした体験イベントや産官学連携プロジェクトに果敢にチャレンジしています」と話すのは、NPO法人とうもんの会の山下理事長。「とうもん」とは稲面（とうも）や田面（たおも）がなまった言葉で、掛川市・袋井市・磐田市の南部に広がる田園地区一帯を「とうもんの里」としています。

そば打ちや味噌づくりなどの人気講座をはじめ、地元の横須賀高校や静大生と連携し、若いアイデアを活かしたイベントも行っています。



温室メロンから摘果した小メロンを一つ一つ手洗いし、真心を込め漬けた「遠州メロン漬け」。県内のしずつつストアやフードマーケット マムなどで販売。

**廃棄されていた小メロンが
地産地消のお漬物に変身**

なかでも季咲亭（静岡市葵区）と協働で商品化した「メロン漬け」は、とうもんの里設立当初のプロジェクト。平成21年に「一社一村しずおか運動」に認定されています。

地産地消にこだわり、静岡の新鮮野菜を漬け込んだ漬物作りをしている季咲亭。社長の小泉さんは両者の出会いについてこう話します。

「メロン農家で摘果した小ぶりのメロンが廃棄されているのを新聞の記事で知り、もったいないと思ったのがきっかけです。有効活用できないか、とうもんの里へ直接問い合わせました」

**「もったいない」を原料に
誕生した遠州名物メロン漬け**

「もったいない」を原料に誕生した遠州名物メロン漬け。メロン農家からとうもんの里へ持ち込まれた小メロンを季咲亭が買い取り、新鮮なうちに手作業で加工し、ポリポリの浅漬けに仕上げます。

**とうもんの里を拠点に
つながる！広がる！**

「とうもんの里はお客さんと農家さんをつなげる場であり、農家さん同士が交流する場でもあります。皆さんが楽しそうに話をしている様子を見て、私たちも幸せな気持ちになります」と鈴木さんは笑顔で話します。

小泉さんは「季咲亭では地域の課題を解決し経済発展につなげようと、新商品の開発を行っています。メロン漬けで得たノウハウをもとに、放置竹林の幼竹を加工した『静岡めんま』もそのひとつ。今後ともこうした取り組みに挑戦していきたいですね」と抱負を語ってくれました。

「もったいない」を原料に 遠州名物メロン漬けが誕生

静岡県産の野菜にこだわって製造を行っている株式会社 季咲亭。
とうもんの里との取り組みが「一社一村しずおか運動」に認定され、
現在も地域特産品の開発と地産地消の推進などの協働活動を行っています。



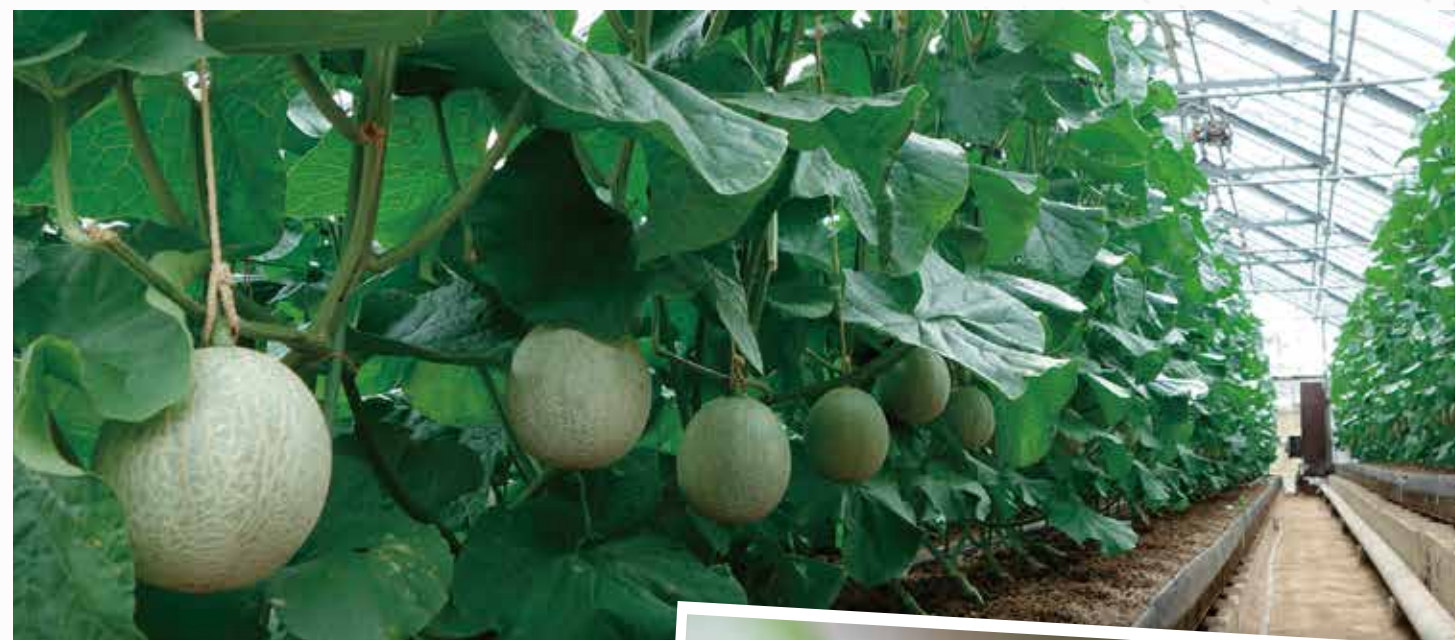
農村 × 企業・大学
むらマッチ
ニーズと得意分野をマッチング



とうもんのさと
掛川市・袋井市・磐田市



● 車／東名高速掛川 IC から県道 403 号線大須賀方面→袋井大須賀線大須賀方面→案内看板右折
● 電車・バス／ JR 東海道線袋井駅から秋葉バス秋葉中遠線「七軒町」下車徒歩 5 分



摘果した
子メロンが

おいしい
メロン漬けに！



期待できる効果

地域のメリット

～地域「とうもんの里」の人々にとって～

- ・メロン農家の利益向上に寄与
- ・農家の負担を軽減
- ・廃棄費用を軽減

企業のメリット

～企業「季咲亭」にとって～

- ・地域への社会貢献
- ・廃棄農産物を加工して資源化する SDGs な取り組み



年明け恒例の人気イベント「田舎味噌づくり」では、地元で採れた大豆を使った味噌づくりを体験できる。



静岡大学地域創造学環と常葉大学こども健康学科の学生たちがフィールドワークとして活動に参加。農業を知らない子どもたちをとうもんの里に呼び込もうと、自然と触れあうことのできる「キッズフェス」を企画・開催している。



株式会社季咲亭
小泉 幸雄 さん
静岡市駿河区に生まれる。平成 19 年 5 月に株式会社 季咲亭を設立。



NPO 法人とうもんの会
山下 みさお さん
掛川市横須賀で生まれ育つ。NPO 法人とうもんの会理事長。



NPO 法人とうもんの会
鈴木 睦子 さん
掛川市山崎出身。NPO 法人とうもんの会の主要メンバー。

外国人が見た 邑のあれこれ my viewpoint

日本には多くの道の駅があり、地元の特産品など多くの商品が販売されています。今回の取材では平成 9 年に静岡県内において 5 番目の道の駅として登録された「いっぶく処横川」に行きました！浜松駅から車で 1 時間程、都会から田舎へ、徐々に景色が移り変わっていきます。

緑豊かな山間の里であるいっぶく処横川

のんびりと車窓からの景色を楽しんでいると、いつの間にか緑に囲まれた場所に到着しました。車を降りると、すぐに清々しい空気と美味しそうな香りが漂いました。



いっぶく処横川は地元の人々の努力と行政の支援により、36 年の月日を経て無人直売所から現代的な EV スタンドを設置した施設へ発展しました。平日でも多くのお客様が訪れます。車以外にバイクや自転車で訪れる人もおり、道の駅は休憩だけではなく、買い物やドライブを楽しむ場所として賑わっています。

しいたけの収穫を楽しむ

地域の主な産業はお茶としいたけです。しいたけの栽培にはコナラという木を使います。コナラの原木を切り約 1 ヶ月乾燥させ 1 メートルほどに切り、穴を開け、菌を打ち込みます。その後日光を避けて林の中で原木を伏せ込み、約 1 年半待ちます。収穫できる時期になると、雨が降っていない日に収穫します。収穫するときは、しいたけの柄の部分を持ち、根元からもぎとります。しいたけ収穫体験は初めてだったので、たくさん収穫できてとても楽しかったです。



しいたけ
たくさん
取ったよ～

人生初のしいたけコロッケ作り

コロッケを作るのは大変そうで一度もやったことがありませんでしたが、いっぶく処のおかあさんたちの指導を受け、人生初のコロッケを美味しく作ることができました。美味しいコロッケを作るために、まずじゃがいもを約 20 分蒸します。その間、おかあさんたちがコロッケ作りのノウハウを教えてくださいました。例えば、じゃがいもは煮るよりも蒸すほうが、水分が少なく美味しく出来上がるようです。



浜松市天竜区

- 車 / 東名高速道路浜松 IC 55 分
- 新東名高速道路浜松北 IC 29 分
- 電車・タクシー / 電車・バス / JR 浜松駅から遠鉄西鹿島線で 32 分、西鹿島駅乗り換え、遠鉄バス春野車庫ゆき乗車 30 分、バス停「いっぶく処横川」下車

蒸したじゃがいもの皮をむいてから力を込めてマッシャーでつぶし、塩、コショウと炒めた玉ねぎを加えて味を調えました。じゃがいもが温かいうちに材料を混ぜ入れたため、おいしそうな香りが広がりました。その後は一つ一つ計量をし、しいたけがはみ出さないようにじゃがいもに包みます。そしてコロケの形に整え、小麦粉、卵、パン粉を順につけてから揚げます。外皮はサクサク、中身は柔らかく、玉ねぎとしいたけの調和が感じられます。最初の一口を食べたら、きっともって食べたくくなります。いっぶく処横川では、しいたけコロケ以外におからコロケもあります。両方とも浜松産の食材を使用しており、地元の名産となっています。



ソフトクリームもしいたけの味？！

最初聞いたときは、どんな味なのかは想像ができませんでした。しかし食べてみたらとても美味しくて、びっくりしました。しいたけソフトは、バニラソフトの生地にしいたけの粉を混ぜることで出来上がります。口の中に入ると、バニラソフトの甘さとしいたけのうまみがしっかり感じられます。いっぶく処横川は日本で 3 番目にしいたけソフトの販売を始めたそうです。ぜひ一度食べてみてください！



静岡県知事直轄組織多文化共生課国際交流員
テレヨン・ロイス (右) [フィリピン]
ディラ・フォルトゥーナ (左) [インドネシア]



しいたけおにぎりとうどんも
美味しかったです。

キラリ★邑びと

新たな取り組みで地域を盛り上げる邑びとを紹介します。今回は「修善寺紙」の伝承と普及に取り組んでいる舩田さんに話を聞きました。

写真提供／齋藤洋平さん

大企業を辞めて 伝統工芸の世界へ



修善寺紙谷和紙工房
伊豆市地域おこし協力隊
舩田 拓人さん

修善寺の伝統工芸「修善寺紙」の再興と文化継承に取り組んでいる舩田拓人さん。2 年前に伊豆市地域おこし協力隊として、伊豆市に移住しました。大学院卒業後、大阪のスポーツメーカーに勤めましたが、人生が豊かになっていくことに違和感を覚えるように……。 「大企業の歯車になるのではなく、ものづくりの上流から下流まですべてに携わりたい。世界を相手に勝負できるものはなんだろうって考えたとき、伝統工芸だと思ったんです。歴史は真似できない。そのものが続いてきたという事実には、お金で買えない価値があります」そんな想いから伝統工芸の世界へ転身。なかでも千年以上の歴史を持つといわれる

「すごいと思うのは、地元住民の熱い想いから復活を遂げ、今日まで受け継がれてきたことです。地元の皆さんの修善寺紙を愛する気持ちの強さを感じます」

**修善寺産にこだわり
休耕田を利用して原材料を栽培**

昨年からは休耕田を活用して、和紙の原材料であるミツマタの栽培を始め、原料づくりから和紙の作成、製品の開発、販売までを一貫して行っています。また、工房の見学や和紙漉き体験も積極的に受け入れ、和紙文化を広める活動にも取り組んでいます。

「修善寺紙」の道に進むことを決意しました。

地元住民の熱い想いで
つないできた修善寺紙

修善寺紙の魅力は、千年以上も受け継がれてきたとされる「歴史」にあると舩田さんは言います。修善寺紙が文献で最初に登場したのは室町時代で、それ以前から存在したともいわれています。しかし明治になると西洋紙が導入され、需要が年々減少し、生産は一旦中止に。その後、再興しようという動きが始まり、昭和 60 年に地元住民の協力のもと、鶏小屋を建て替えて工房を建設しました。

自分が望んだゼロからのものづくりができていくことにやりがいを感じながらも、売り先もまったくない現状に、「ビジネスとして成り立たせていくにはどうしたらいいか、課題は山積みです。そして、修善寺紙の魅力をどのよう世界に広めていくか。これが私の最大のミッションです」と話す舩田さん。挑戦は始まったばかりです。



滑らかな紙質のミツマタは、古くより日本の紙幣にも使用されています。

非日常を味わえる和紙漉き体験

和紙漉きだけでなくとどまらず、修善寺紙の歴史や和紙の作り方の説明、和紙原材料の畑への案内を通して、和紙を総合的に学ぶことができます。

料金 / 5,000 円 所要時間 / 約 90 分 【要予約】
修善寺 紙谷和紙工房 伊豆市修善寺 1302-4
TEL.050-3699-4284 営業時間 / 10:00～17:00 不定休



三保松原と
修善寺紙の異色コラボ
みほのまつがみ



三保松原の景観を守るために、松原の清掃活動で回収した枯れ松葉。有効活用すべく和紙に漉き込んだ「みほのまつがみ」を開発しました。やさしい手触りで松葉の香りもほんのり。折り紙やグリーティングカードとして販売しています。



けいりゅうこしひかりのふるさと

桂流コシヒカリのふる里

伊豆市

- 車 / 東名高速 沼津 IC から約 60 分、新東名高速 長泉沼津 IC より約 60 分
- 電車・バス / 伊豆箱根修善寺駅からバスで修善寺温泉下車、徒歩 20 分



農家の相棒
撮影場所：掛川市
撮影者：sa.ru9875 さん
撮影時期：令和 5 年 8 月



ひまわり畑を駆ける
撮影場所：牧之原市 タイラファーム
撮影者：momo_o1212 さん
撮影時期：令和 5 年 9 月



夏てんこもり！
撮影場所：袋井市 どんどこあさば
撮影者：aripeimama さん
撮影時期：令和 5 年 7 月



盛夏の案山子
撮影場所：袋井市 どんどこあさば
撮影者：clax1221 さん
撮影時期：令和 5 年 7 月



稲刈り日和
撮影場所：裾野市
撮影者：hisako.manekineko さん
撮影時期：令和 5 年 9 月



訪れてみたくなる、過ごしたくなる、
農村の「食」、「文化」、「人々」の
写真・投稿を募集しました。

夏のテーマ

「心惹かれる農村の暮らし」



祭が渡る
撮影場所：藤枝市岡部町内谷
撮影者：shin81014 さん
撮影時期：令和 5 年 7 月



田んぼアート菊川 2023
撮影場所：菊川市
撮影者：baby_2022.3.18 さん
撮影時期：令和 5 年 7 月



富士が見守る棚田群
撮影場所：富士宮市 平成棚田
撮影者：uav.photo さん
撮影時期：令和 5 年 9 月



夕遊
撮影場所：袋井市 どんどこあさば
撮影者：tezuka.koji さん
撮影時期：令和 5 年 7 月



手筒花火奉納
撮影場所：浜松市天竜区 秋葉神社下社
撮影者：hachi さん
撮影時期：令和 5 年 8 月



彼岸花の中でお散歩
撮影場所：浜松市天竜区二俣
撮影者：popoponmoco さん
撮影時期：令和 5 年 9 月

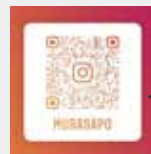


Instagram

#しずおかむらたび冬 2023 作品募集中！



2023 年 12 月 16 日（土）から冬のフォトコンテスト開催中！応募期間は 2 月 29 日（木）まで。皆様からのご応募をお待ちしております！



詳しくは「むらサポ」
instagram
アカウント
をチェック！

応募期間

12/16 Sat ~ 2/29 Thu

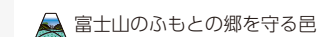
今回のテーマは、
「農村のぬくもりにふれよう！」です。



手を取り合って
撮影場所：伊東市 松川湖
撮影者：ka0ru_7c さん
撮影時期：令和 5 年 9 月



じゃがいも大量！
撮影場所：浜松市北区三方原
撮影者：iponponpone さん
撮影時期：令和 5 年 7 月



夏の終わり
撮影場所：富士市富士岡南
撮影者：hirononbiripphoto.25 さん
撮影時期：令和 5 年 9 月



山村の花火
撮影場所：藤枝市滝沢
撮影者：otnky321 さん
撮影時期：令和 5 年 9 月





お越しいただく皆様へのお願い

開催日時や内容は、余儀なく変更・中止される場合がございますのであらかじめご了承ください。

体調の優れない方のイベントへのご参加はお控えください。

浜松市 **和地ふるさと会**
2月中下旬～3月上旬
東大山河津桜まつり
 花川沿いに400本の河津桜と菜の花が見所。土日は、軽トラ市、軽食、大道芸を予定。
■ 大山地区の花川堤西区和地町地内
 浜松市西区大山町 2671 付近
 問 和地ふるさと会
 担当：会長 野中 真八郎 ☎090-3483-9494
 ② 無料駐車場 200 ～ 400 台（案内看板あり）



毎月開催イベント

浜松市 **恩地町環境みどり会**
毎月第3日曜9時～9時30分
恩地町みどり朝市
 野菜中心の「新鮮・安全。安～い」朝市！
 浜松育ち おいしいものは地元から
 ＊雨天時は、屋内で開催します
■ 恩地町公会堂屋外広場 浜松市南区恩地町 443 番地
 問 恩地町環境みどり会 見野 関一郎 ② 駐車場有 無料
 ☎053-426-2888



松崎町 **那賀地区**
2月中旬～5月5日(水・祝)
田んぼをつかった花畑
 農閑期の田んぼを利用した広大な花畑。
 GWには無料の花摘み体験あり。
■ 松崎町那賀地区
 問 松崎町花畑実行委員会（松崎町観光協会内）
 ☎0558-42-0745
 ② 町営の無料駐車場あり。
 協力金として1グループ（9名まで）500円、
 1グループ（10名以上）1,000円。



藤枝市 **滝沢・滝ノ谷**
2月下旬
滝沢八坂神社の田遊び
 静岡県指定無形民俗文化財の伝統行事です。
 農作業を模した演目で、豊作を祈願します。
■ 八坂神社
 藤枝市滝沢1320
 問 藤枝市文化財課 ☎054-645-1100



浜松市 **ほっと龍山**
2月11日(日)10時～15時
ドラゴンママの食体験 2023
 人日の節句 七草がゆ、いちご大福、みそづくり体験
■ ドラゴンママ加工場
 浜松市天竜区龍山町瀬尻 930-1
 問 NPO 法人ほっと龍山
 （龍山森林文化会館内）NPO
 ☎053-968-0011 053-968-0360
 ドラゴンママ営業時間 9:00 ～ 16:00
 定休日 月・火曜日
 ほっと龍山 8:30 ～ 17:15
 定休日 土・日・祝日
 ◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いしております
 ◎体調の優れないお客様はご来場をご遠慮ください

伊豆市 **伊豆月ヶ瀬梅の里**
2月中旬から3月中旬
伊豆月ヶ瀬梅林梅まつり
 梅の花見、農産物の販売、静岡県大鼓祭りの開催
■ 伊豆月ヶ瀬梅林
 伊豆市月ヶ瀬 763-2
 問 農事組合法人 伊豆月ヶ瀬梅組合
 ☎0558-85-0480 ② 駐車場無料
 入場料 300 円（価格変更の可能性があります）
 ◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いしております



浜松市 **三ヶ日みかんの里**
1月13日(土) 9:00～15:00
JA みっかび農協祭
 特産物品評会・農産物販売・みかんつかみ取り・餅投げ
 畜産まつり・女性部展示
■ JA みっかび本所
 問 JA みっかび組織 広報課 楠田
 ☎053-525-2215

掛川市 **とうもんの里**
1月20日(土)
特産干し芋づくり
 遠州の空っ風が生んだ干す食文化
 干し芋体験講座
■ とうもんの里総合案内所 掛川市山崎 2 3 3
 問 NPO 法人とうもんの会
 ☎0537-48-0045
 体験料：大人 1,000 円 子ども 500 円



浜松市 **そばの里づくり佐久間**
1月27日(土) 28日(日) 9時～15時
佐久間新そば祭
 地元佐久間のそば粉はもちろん、他地区のそば粉を使った
 そばの食べ比べと地元物産品の販売
■ 天竜区佐久間町佐久間 429-1
 問 NPO 法人がんばらまいか佐久間（担当：河村）
 ☎053-965-1100 ② 佐久間支所駐車場利用（無料）
 ◎マスクの着用、消毒へのご協力をお願いしております



February 2月～

森町 **一の宮の里**
2月3日(土)
節分祭
 年男年女の奉仕者による豆まき行事が行われます。
■ 小國神社 森町一宮 3956-1
 問 小國神社 ② 駐車場無料
 ☎0538-89-7302

January 1月～

森町 **一の宮の里**
1月1日(祝)
初詣
 大晦日から多くの初詣客で賑わいます。
■ 小國神社 森町一宮 3956-1
 問 小國神社 ② 駐車場無料
 ☎0538-89-7302

森町 **一の宮の里**
1月3日(水)
田遊祭
 一年の豊作を祈願する神事芸能。
■ 小國神社 森町一宮 3956-1
 問 小國神社 ② 駐車場無料
 ☎0538-89-7302

掛川市 **とうもんの里**
1月7日(日)
和つなぎ食堂 七草粥の日
 食文化を伝えるために、周辺の田畑で摘んだ七草で七草がゆ
 をづくり、どなたでもどうぞの無料提供
■ とうもんの里総合案内所周辺 掛川市山崎 2 3 3
 問 NPO 法人とうもんの会
 ☎0537-48-0045 参加費 無料



森町 **天方地区**
1月上旬～2月中旬
ろうばい見頃
 蜷梅の花が見頃を迎えます。
■ アクティ森 森町問詰 1115-1
 問 アクティ森 ② 駐車場無料
 ☎0538-85-0115



Event Calender
 邑のイベントカレンダー
2023-24
 令和 5 年 6 年
Winter

あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601
 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
 静岡県経済産業部農地局農地保全課
 FAX 054-221-2809
 E-mail: nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢をご記載ください。
 ※頂いたご意見は次号以降に掲載させていただきます場合があります。
 ※個人情報、連絡のため以外には使用いたしません。

December 12月～

磐田市 **田原地区**
12月24日(日) 9:00～11:30
しめ飾りづくり体験
 田原地区の皆さんを対象に、しめ飾りづくりの講座を開催します。
■ 磐田市田原交流センター視聴覚室
 磐田市三ヶ野 1045-3
 問 田原みどりの会（田原交流センター内）
 ☎0538-35-4269 【要予約】



20th Anniversary
浜名湖花博 2024
 LAKE HAMANA HANAHAKU 2024
 浜名湖ガーデンパーク会場 2024年 4/6(土)～6/2(日)
 はままつフラワーパーク会場 2024年 3/23(土)～6/16(日)

お問合せ
 浜名湖ガーデンパーク会場に関すること
 浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会（県部会）
 TEL:053-482-7350
 mail:hanahaku2024@pref.shizuoka.lg.jp
 はままつフラワーパーク会場に関すること
 浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会（市部会：浜松市緑政課内）
 TEL:053-457-2565
 mail:ryokuka@city.hamamatsu.shizuoka.lg.jp

浜名湖花博は 20 周年
 2004 年に開催された「浜名湖花博」の 20 周年を記念して「浜名湖花博 2024」を開催します。今回は、「人・自然・テクノロジーの架け橋～レイクハマナデジタル～」をテーマにデジタルと花緑に囲まれた憧れの生活を提案します。
 会場では全国で活躍するガーデンデザイナーによる庭園や、デジタルアートミュージアム、ウォータースクリーンによる大噴水ショーなど、花緑とデジタルイベントが楽しめます。各会場で、皆様のお越しをお待ちしております。